

環境経営の推進

2020年度 目標・実績 / 2021年度 目標

目的・目標テーマ	2020年度		2021年度
	環境目標	実績	環境目標
持続可能な社会に貢献する製品・サービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> 製品における低GWP冷媒への置き換えを実施します 3機種以上実施完了 低GWP搭載装置の販売台数拡大 	2機種実施完了 目標達成	<ul style="list-style-type: none"> 製品における低GWP冷媒への置き換えを実施します 3機種以上実施完了 低GWP搭載装置の販売台数拡大
	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ製品の販売により、CO₂排出抑制に貢献します CO₂排出抑制貢献量 7,150t-CO₂ 	5,732t-CO ₂	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ製品の販売により、CO₂排出抑制に貢献します CO₂排出抑制貢献量 6,350t-CO₂
	<ul style="list-style-type: none"> 新たなエナジーデバイスの開発に合わせた専用装置を開発し、お客さまに提供します 専用装置2機種の開発・市場投入 	2機種開発・市場投入完了	(2020年度に目標達成したため、テーマ完了)
	<ul style="list-style-type: none"> 新排ガス規制に向けエコカーや電動化技術を開発されるお客さまに製品を提供します ①自動車市場向け装置の売上拡大 ②自動車市場向け受託試験の売上拡大 	①目標達成率 79% ②目標達成率 95%	<ul style="list-style-type: none"> 新排ガス規制に向けエコカーや電動化技術を開発されるお客さまに製品を提供します ①自動車市場向け装置の売上拡大 ②自動車市場向け受託試験の売上拡大
	<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮開発設計ガイドライン改訂と全社への教育・周知を行います 	ガイドライン作成継続	<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮開発設計ガイドライン改訂と全社への教育・運用を行います
	<ul style="list-style-type: none"> お客さまの潜在ニーズを先取りしたサービスメニューのための技術開発を行います 技術開発テーマ 1件実施完了 	技術開発テーマ1件 実施継続	<ul style="list-style-type: none"> お客さまの潜在ニーズを先取りしたサービスメニューのための技術開発を行います 技術開発テーマ 1件実施完了
	<ul style="list-style-type: none"> 製品による環境負荷低減に向けた技術開発を行います 製品への展開 1件 	技術開発テーマ1件 実施継続	<ul style="list-style-type: none"> 製品による環境負荷低減に向けた技術開発を行います 製品への展開 1件
気候変動対策	<ul style="list-style-type: none"> 国内事業所におけるCO₂総排出量を5%削減します (2018年度比) 	32%削減	<ul style="list-style-type: none"> 省エネと再生可能エネルギーの積極的な導入により、国内事業所におけるCO₂排出量(SCOPE 1+2)を2018年度比80%削減します*
	<ul style="list-style-type: none"> グリーン調達先におけるCO₂排出量把握のための仕組みを構築します 	調達先に対する仕組み構築 (2021年度よりCO ₂ 排出量把握開始)	<ul style="list-style-type: none"> グリーン調達先におけるCO₂排出量把握のための仕組みを構築します ①グリーン調達先に対するCO₂排出量把握と目標値設定に向けての取り組み ②グリーン調達認定先の拡大
資源循環	<ul style="list-style-type: none"> 福知山工場の排出物総量を2017年度比で3%削減します 	22%削減	<ul style="list-style-type: none"> 製造およびグローバル調達の拡大に伴う排出物の増加を抑制します 4%削減(2017年度比)
	<ul style="list-style-type: none"> 部品のリユース再生技術を開発し、環境負荷低減に努めます 計装表示器のリユース技術の開発 	開発継続	<ul style="list-style-type: none"> 部品のリユース再生技術を開発し、環境負荷低減に努めます 計装表示器のリユース体制の構築と実現
化学物質管理	<ul style="list-style-type: none"> グローバル市場向け製品におけるRoHS規制対象10物質について対応活動を行います(22機種) 	22機種対応完了	<ul style="list-style-type: none"> グローバル市場向け製品におけるRoHS規制対象10物質について対応活動を継続します
	<ul style="list-style-type: none"> カスタム仕様製品をRoHS規制対応品とします 4機種実施完了 	3機種対応完了	<ul style="list-style-type: none"> カスタム仕様製品をRoHS規制対応品とします 5機種実施完了
	<ul style="list-style-type: none"> 社内情報システムに製品の化学物質管理機能を追加します 	活動継続	<ul style="list-style-type: none"> 社内情報システムに製品の化学物質管理機能を追加します
生物多様性保全 環境人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 企業向け事業所敷地・保有森林の簡易多様性評価・保全事業を拡大します PR件数 150社 	184社 1件受注	<ul style="list-style-type: none"> 企業向け事業所敷地・保有森林の簡易多様性評価・保全事業を拡大します PR件数 180社
	<ul style="list-style-type: none"> 京都モデルフォレスト活動を通じて、毛原の森を持続可能な森へと整備します 毛原の森活動参加人数 200名以上 	23名 新型コロナ感染拡大により一部実施見送り	<ul style="list-style-type: none"> 京都モデルフォレスト活動を通じて、毛原の森を持続可能な森へと整備します 毛原の森活動参加人数 200名以上
	<ul style="list-style-type: none"> KRCバンビの里およびエスベックミック在来種育成ラボをエスベックの生物多様性保全の教育・普及の場として、生物多様性に取り組むお客さまや市民に広くご活用いただけるように整備します ①バンビの里への誘引人数 250名 ②エスベックミック在来種育成ラボへの誘引人数 120名 	① 104名 ② 139名	<ul style="list-style-type: none"> KRCバンビの里およびエスベックミック在来種育成ラボをエスベックの生物多様性保全の教育・普及の場として、生物多様性に取り組むお客さまや市民に広くご活用いただけるように整備します ①バンビの里への誘引人数 500名(オンラインでの実施を含む) ②エスベックミック在来種育成ラボへの誘引人数 150名
	<ul style="list-style-type: none"> 「エスベックみどりの学校」のさらなるレベルアップを図ります ①エコ検定管理職合格率100%の維持 エコ検定リーダー職以上への取得推奨 (※2019年度末:リーダー職以上合格率 87%) ②環境法規制に対する部門長の理解度を深めるための教育計画と実施 ③企業向け生物多様性セミナーの開催と企業の環境担当者の参加を誘引 年4回以上開催 	① 99.4% ② 実施完了 ③ 新型コロナ感染拡大により実施見送り	<ul style="list-style-type: none"> 「エスベックみどりの学校」のさらなるレベルアップを図ります ①エコ検定管理職合格率100%の維持 エコ検定リーダー職以上への取得推奨 ②環境法規制に対する部門長の理解度を深めるための教育計画と実施 ③企業向け生物多様性セミナーの開催と企業の環境担当者の参加を誘引 年4回以上開催
	<ul style="list-style-type: none"> 公益信託「エスベック地球環境研究・技術基金」による助成を充実します 年間助成件数15件以上 	12件	<ul style="list-style-type: none"> 公益信託「エスベック地球環境研究・技術基金」による助成を充実します 年間助成件数 15件以上

*環境中期計画を見直し、国内事業所におけるCO₂総排出量削減目標の引き上げを行いました